

誰もが楽しむ物理学習を目指したワークショップ型

授業の実践研究

教育実践高度化専攻 教科指導重点コース 理数・自然科学系（理科）

大倉 由貴

今日の高等学校の理科教育において、物理嫌いの深刻化および物理に対する興味関心にジェンダー差が存在することが指摘されている。そこで本研究では「誰もが楽しむ物理学習」を目指し、「Workshop Physics」を導入したカリキュラム構成を行い、物理授業における学習動機づけの促進および正しい物理概念の習得を目指した。

本実践の効果を検証するため、単元の前後に物理概念調査および動機づけ診断を実施した。また、OPP シートを導入し、学習者のメタ認知を促すとともに、シートの記述内容から物理概念の習得状況と動機づけ尺度の変容を検証した。診断結果から、動機づけ尺度の「興味価値」において、平均スコアの向上および男女間でのスコア有意差の解消が見られた。さらに OPP シートの活用により、7割以上の生徒が自己の成長を客観視できていることが分かった。

以上の結果から、Workshop Physics を取り入れた授業は、物理学習の動機づけ促進およびジェンダー差の解消に対して有効であることが実証できた。